

学籍番号：

氏名：

評価：

問題 1

a, b, c, x, y, z を実数として、行列式に関する次の恒等式が成立することを示せ。

$$\begin{vmatrix} a+x & a+y & a+z \\ b+x & b+y & b+z \\ c+x & c+y & c+z \end{vmatrix} = 0.$$

学籍番号：

氏名：

評価：

問題 2

(1) 線形独立な 2 つの平面ベクトル $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix}$, $\mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \end{pmatrix}$ が張る平行四辺形 $\{a\mathbf{u} + b\mathbf{v} \mid 0 \leq a, b \leq 1\}$ の面積 A について、次の問いに答えよ。

(i) \mathbf{u} , \mathbf{v} がなす角度を θ ($0^\circ < \theta < 180^\circ$) とおく時、 \mathbf{u} , \mathbf{v} が張る三角形に対して余弦定理を適用することで、 $\mathbf{u} \cdot \mathbf{v} = |\mathbf{u}||\mathbf{v}| \cos \theta$ が成立することを示せ。

(ii) $A^2 = |\mathbf{u}|^2|\mathbf{v}|^2 - (\mathbf{u} \cdot \mathbf{v})^2$ を示せ。

(iii) 行列式を使って、 $A^2 = \begin{vmatrix} \mathbf{u} & \mathbf{v} \end{vmatrix}^2 = \begin{vmatrix} u_1 & v_1 \\ u_2 & v_2 \end{vmatrix}^2$ が成立することを示せ。

(2) 線形独立な 3 つの空間ベクトル $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \\ u_3 \end{pmatrix}$, $\mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \\ v_3 \end{pmatrix}$, $\mathbf{w} = \begin{pmatrix} w_1 \\ w_2 \\ w_3 \end{pmatrix}$ が張る平行六面体 $\{a\mathbf{u} + b\mathbf{v} + c\mathbf{w} \mid 0 \leq a, b, c \leq 1\}$ の体積 V について、次の問いに答えよ。

(i) \mathbf{u} , \mathbf{v} の外積を $\mathbf{u} \times \mathbf{v} = \begin{pmatrix} u_2v_3 - u_3v_2 \\ u_3v_1 - u_1v_3 \\ u_1v_2 - u_2v_1 \end{pmatrix}$ で定める時、 $\mathbf{u} \times \mathbf{v}$ は \mathbf{u} と \mathbf{v} に直交し、大きさが \mathbf{u} , \mathbf{v} が張る平行四辺形の面積 A に等しいことを示せ。

(ii) $V = |(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \cdot \mathbf{w}|$ を示せ。

(iii) 行列式を使って、 $V^2 = \begin{vmatrix} \mathbf{u} & \mathbf{v} & \mathbf{w} \end{vmatrix}^2 = \begin{vmatrix} u_1 & v_1 & w_1 \\ u_2 & v_2 & w_2 \\ u_3 & v_3 & w_3 \end{vmatrix}^2$ が成立することを示せ。